	No.	34	_	1	事務事	業名	総合福	晶祉センター 組	推持'	管理事業 <mark>細事</mark>	務事	業名	総合福祉	セン	ター維持領	管理事業	公的関与	ž 2 Š	ノート作	成E	3	平成31年	6月7日	
	課名		総合福祉 ⁻													井 清和	シ	シート作成者名			村 瀬 修			
	車・	幸口	公	○ 1 ソフト事			事業 ○ 3		E備事業		•	5 旅	函設の管理	里運	営	車業温	営方法	☑ 1 i		営		3 全部	委託	
	尹 :	業区分		○ 2 施設の建設			設 ○ 4 経常的			的事務事業	事務事業					尹未进	苦刀広	□ 2 -	一部委	€託 □ 4		4 補助	4 補助等	
				政策目標 3 健やかでやさしいや。					とみ			実	施計	-画			事美	美の開	開始・終了					
	総合計画		画	施策項目高齢者支援の充実								〇 1 該	挡		平成 11 <mark>年度 ~ 平成 年度 ☑ 期間</mark> 設定なし									
				主要施策 高齢者福祉サービス等					の提供			● 2 非該当				土亼笙	サ 1 垣 2	化注 改	守≠	公 公元:	いよう	冬個		
	個別計画										根拠法令等とを持続されている。 根拠法令等と人福祉法、弥富市総合福祉センター条例													
				対象(誰を・何を)								意図(どういう状態にしたいのか)												
Ρ		「業の 目的		市内征	市内在住の60歳以上高齢者 高齢者が尊厳を保ち、健康で生きがいのある暮らしを営めるための豊かな人間関係と地域社会を形成します。																			
14Z	事業の 内容											る多目的ホールをはじめ、コミュニケーションの場としてのゆったりとした教養娯楽室、 Bとしての研修室など福祉活動の中心的役割を果たす場を設けています。 利用者数44,720人。												
		成果指標		指標名 利用者数 指標名										指標名										
	成里		(指標 定の え力	<mark>考</mark> 老ノ	人福祉	冨祉センター及び貸館等利用者数					単位	A	指標設 定の考 え方							单位			
	指		1	平	成 29	年度	平	成 30 年度		平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	29 年度	平成	30 年度	平	成	※ 年度	目標平月	式 30 年度	
	椇			実			実	101,035							実		実							
				積 102,55		36	績	101,035	目	*	目標		00.000		績		績		目	1	*	目		
				99,0		00	目標	*	標	標		'	100,000		目標		且		標		*	標		
	₹.	佐 曲	_	会	=11		標	άπ. Δ .=1			+		-		悰	<mark>標</mark> ■ 3 老人福		山建		-	4 + 1	· ·		
	了:	予算費目			計			一般会計 平成 2	9	年度決算額	款	3	民生費	平成	30	年度決		业質		目 成	4 老人	、価値で 年度予		
			囯.Ⅱ	見支出	14			十八 2	.9	十及次昇領 千円	_			十八	30	十尺人	千円			· 八	*	平 及了		
	直拉			力債					千円					36,900							<u>千円</u> 千円			
	接事業費	7							9,607 千円						5,127									
D		٠ر)他特定財源 一般財源					53,565 千円						69,459							千円 千円		
0				_Н (А)					63,172 千円					111,486							0 千円			
		Р							0.835 人					0.799							人			
	人作		正職	t員工数·経費		—	5,762 千円			1					5,513							0 千円		
	(E	3)	臨時	·職員工数·経費		3	2 67	79 人		4,286 千円			2.813	Y		4,501				T)千円	
	全体事		事業費(A+B)							73,220 千円						121,500					0 千円			

			チェック項目	一次評価					一次評価の説明				二次	評価		
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	0	はい		● しいい		高齢者や身体 あいの場所と			0	はい	● い	いえ	
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	0	はい		● いい	え	す。			0	はい	● い	いえ	
	要 性		住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	•	はい		O 1117	え				•	はい	0 V	いえ	
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較して ニーズを上回るサービスとなっている。	0	はい		● いい	え				0	はい	● い	いえ	
	有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	はい		● いい	え	高齢者が増加 ける高齢者サ		0	はい	● い	いえ		
		2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	はい		€ (1/1)	え	体障がい者の	ふれあし	いの場所と	0	はい	● い	いえ	
C		3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	はい		● いい	え	して活用されて	しいまり。	•	0	はい	● い	いえ	
HEC		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	はい		● いい	え				0	はい	● い	いえ	
C		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目標	に比/	べて劣ってい	る	三日連続休館 呂利用のみ11			0	○ 目標に比べて劣っている			
	達成度	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	0	あまり)上が [,]	っていない		により利用者			0	○ あまり上がっていない			
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	0	概ね	達成し	している					0	概ね達成している			
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	•	十分	達成	している					•	● 十分達成している			
	効変	1.	効果に比べてコストが高い。	0	はい		● いい	え	コストについては、極力抑える努力は しているが、高齢者や身体障がい者 のふれあいの場所として提供する目 的であるので、一概にコストの高い安 いでは判断できませんが、効率的な 施設運営を行うよう努めています。				はい	● い	いえ	
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	はい		● いい	え					はい	● い	いえ	
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	•	はい		O 1113						はい	O 11	いえ	
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	はい		● いい;	え	心政生占をログ	G 75107	20.20.	0	はい	● い	いえ	
			一次評価		二次評価											
	評価	m 占	必要性 有効性 達成度 効率性 総合詞	価		业	要性	1	有効性 道	達成度	効率性	生	総	合評価		
			3 4 4 3 A			3 ○3 拡大·充実			4 4 - - - - - - - - - -		3	_	A ○ 民間委託等		/-	
		後の 句性	○ 拡大·充実 ② 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託 ○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	古寺					● 現状維持	-	方法改善	_	〇 氏能	一	}	
	יוכ	刊生	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止			0	縮小		統合/終期設 次評価での				意見)			
ACT-O			本施設は、築後20年余が経過しており施設設備の老朽化も進んでいる的に機械類の更新を図り施設の維持管理に努める必要があります。	ため፤												
N	ont:	めの	費用面、センター運営面において最小限の影響にとどめるよう、保守点板 び日常点検において優先順位を考えて修繕費で対応していく一方、金額 ものについては、修繕工事において対応していく。													
	備	考														